

“母語に相当するヴァナキュラーの建築、普遍語に相当する様式建築が長く一つの建築秩序を維持してきた…。二十世紀に入ってから出現したモダニズムも当初は「何故モダニズムか」という使命感と思想をもっていた。[……]「なんでもあり」の時代に突入し、モダニズムが巨大なインフォメーションのプールと化すと共に、思想もスタイルも姿を消す。使命も時に一緒に。”

これからの建築理論

Architectural Theory Now

槇文彦 × 磯崎新 × 原広司 司会 | 隈研吾

| 日時 | 2013年12月1日[日] 17:00-19:30

| 会場 | 東京大学工学部1号館15号教室 (定員113名先着順。別室にて中継予定)

| 主催 | 東京大学建築学専攻 Advanced Design Studies (ADS)

| 企画 | 東京大学建築学専攻 Media Initiative Lab (MIL)

主に1990年代以降、グローバリズムやコンピューター技術発展の波に乗り、さまざまな建築をつくる「実験」が世界中で行われてきました。

しかし、その波も一段落したと考えられる昨今、これからの建築はどのようにあるべきでしょうか。

本シンポジウムは、建築の実践と理論の両面で活躍しつつける3名の建築家、槇文彦氏・磯崎新氏・原広司氏を招き、建築の可能性を考える「建築理論」について問い直しながら、これからの建築、そして教育について考えます。

東京大学ADS Advanced Design Studies

“この10年程、芸術や建築についてはもはや誰も語らなくなった。それでも語る必要ができてくると、芸術をアート、建築をアーキテクチュアとカタカナに読み替えて語るようになった。[.....]これまでの芸術や建築がもう何も意味していない、何の役にも立たない、という共通認識があった。[.....]そこでは建築を論ずる手がかりが消えているという恐るべき状況が到来していたのだ。”

これからの建築理論

Architectural Theory Now

槇文彦×磯崎新×原広司 司会 | 隈研吾

| 日時 | 2013年12月1日[日] 17:00-19:30

| 会場 | 東京大学工学部1号館15号教室 (定員113名先着順。別室にて中継予定)

| 主催 | 東京大学建築学専攻 Advanced Design Studies (ADS)

| 企画 | 東京大学建築学専攻 Media Initiative Lab (MIL)

主に1990年代以降、グローバリズムやコンピューター技術発展の波に乗り、さまざまな建築をつくる「実験」が世界中で行われてきました。

しかし、その波も一段落したと考えられる昨今、これからの建築はどのようにあるべきでしょうか。

本シンポジウムは、建築の実践と理論の両面で活躍しつづける3名の建築家、槇文彦氏・磯崎新氏・原広司氏を招き、建築の可能性を考える「建築理論」について問い直しながら、これからの建築、そして教育について考えます。

東京大学ADS Advanced Design Studies

“僕らはやっぱりコンピューターのような建築をつくらなきゃいけない。建築や都市計画、アーバンデザインというのはもう時代が終わったので、ITとか何かが都市というものを「私に任せてください」と言っているわけですね。[.....]われわれは謙虚にならなくちゃいけないけれども、人間の経験に関して全般的に思考することは、「建築家に任せてくれ」と言うべきである。”

これからの建築理論

Architectural Theory Now

楨文彦 × 磯崎新 × 原広司 司会 | 隈研吾

| 日時 | 2013年12月1日[日] 17:00-19:30

| 会場 | 東京大学工学部1号館15号教室 (定員113名先着順。別室にて中継予定)

| 主催 | 東京大学建築学専攻 Advanced Design Studies (ADS)

| 企画 | 東京大学建築学専攻 Media Initiative Lab (MIL)

主に1990年代以降、グローバリズムやコンピューター技術発展の波に乗り、さまざまな建築をつくる「実験」が世界中で行われてきました。

しかし、その波も一段落したと考えられる昨今、これからの建築はどのようにあるべきでしょうか。

本シンポジウムは、建築の実践と理論の両面で活躍しつづける3名の建築家、楨文彦氏・磯崎新氏・原広司氏を招き、建築の可能性を考える「建築理論」について問い直しながら、これからの建築、そして教育について考えます。

東京大学ADS Advanced Design Studies